

日出生台米海兵演習の中止を

えんど久子前市議など 九州防衛局に要請

日出生台での米海兵隊の実弾砲演習が2月5日から始まるのを前に、1月25日、真島省三前衆議院議員や日出生台での米軍演習に反対する大分県各界連絡会のメンバーとともに日出生台での米海兵隊実弾射撃訓練中止を求める要請を九州防衛局に行いました。以下はその時のやりとりです。



《要請書への九州防衛局の回答》

●米海兵隊訓練移転の中止。

→安保条約にもとづき、米海兵隊の練度維持、即応体制維持のために必要。また、SACO合意の「沖縄の負担軽減」のために必要。

●オスプレイを訓練参加させるな。

→今回の訓練にオスプレイ参加の計画はない。

●午後8時までに砲撃を終了せよ。

→地元自治体との協定を踏まえ、米側に要請してきた。引き続き近隣住民への影響が最小限になるよう努力する。

●訓練の縮小・廃止を米側に要求せよ。

→実施する考えに変わりはない。

●SACO合意に記載のない小火器訓練、国際的に非難されている白リン弾の使用を止めるよ

う米側に要求せよ。

→今回の訓練の詳細は米側から情報が入っていない。米側の運用に支障がない範囲で適切に行われている。

●自衛隊の「支援」と称する演習場内での米海兵隊への協力・援助を止めよ。

→訓練の安全と円滑実施のために支援している。

●米海兵隊との「親睦」と称するボランティア活動や幼稚園、小中学校、地域住民との「日米交流事業」は止めよ。

→現在、米側から要請はないが、分かりしだい地元自治体にはお知らせする。

●以上の要請について、米側とのやりとりの内容を詳細を含めて文書での回答をせよ。

→文書回答はしない。



左から真島省三前衆議院議員、えんど久子。

福岡市の九州防衛局にて。

2018. 1. 25.

参加者は「過去に米海兵隊が覚書を破って8時過ぎまで砲撃訓練をしたことは絶対に認められない」「沖縄で事故を起こし不安が広がっている。米軍の住民説明会を開き情報公開をもっと」などと強く訴えました。

1月28日には九重町での日出生台集会30人近くの仲間と一緒に参加しました。

その後、2月4日に求めている住民説明会が開かれました。

日本共産党 県政ニュース

別府市石垣西8-2-31

日本共産党北部地区委員会

発行責任者 えんど久子

Tel.0977-22-6576

No. 15

2018.2.6.

えんど久子のホームページはっぴーえんど・どっとねっとをぜひご覧ください

えんど久子 障害者団体のみなさんと県に要望

障がい者のみなさん生の声で訴える



2月5日、障害者の生活と権利を守る大分県連絡協議会の皆さんと大分県への要望に基づいて担当課と意見交換をしました。
堤栄三県議（大分市選出）と共にえんど久子県議予定候補も参加し、実情を訴え改善を求めました。

65歳から介護サービスは困る

障がい者のみなさんが65歳になると、これまで受けてきた障がい福祉のサービスから原則として介護保険のサービスに移るこ

とになっていきます。「もうすぐ65歳になるが、これまで通ってきた所を続けたい。介護保険の事業所に移るのは困る」と、障がいを持つ方が訴えるなど、さまざまな問題で実情や気持ちを訴え、話し合いました。



県との話し合いに参加する堤栄三県議（左）とえんど久子県議予定候補。→

その後、トキハ本店前でJRの駅無人化と減便に反対を訴え、集会のチラシを配布しました。この行動にえんど久子も参加。↓



ひとつずつ願いを実現させよう

えんど久子らは、「食材をミキサーにかけないと食事ができない嚥下障害者はミキサーがすぐに壊れてしまう。日常生活用具に加えられるのか」と訴えまし

た。市や県と一緒に国にも求めていきましよう。ひとつずつ改善していくためには、生の声をぶつけていくことが大事です。一緒にがんばりましよう。